

「 Machinery and Organicity 」

宮崎啓太、南依岐

2024.12.21(sat) - 2025.1.26(sun)

Opening reception 2024.12.21(sat)17:00 - 19:00

Open 11:00 - 19:00

Closed Monday and Tuesday

MACHINERY
AND
ORGANICITY

近代以降、時代性は機械性と有機性の比率により表されています。

ネットワーク社会が形成された現代では、アートの文脈においてもデジタルとアナログ、都市や自然などのバランスによる考察はより重要となり、世界の変化と同様に時代を大きく反映しながら発展してきました。

今展においては今の時代性を断片的でありつつもなるべく正確に捉えることを意図しています。

宮崎啓太は機械的で硬質な車のエンジンパーツと手作業で制作された柔らかい紙やフェルトの対極的なパーツを組み合わせ、相反する「秩序と幻想」を表し、インダストリアルな素材を有機的な彫刻に昇華させます。

南依岐は「芸術の核」をテーマに作品の設計図となる独自のアルゴリズムを用いて、アートを成立させる重要な根源的な要素を様々な分野から抽出し、現代の絵画として独自の哲学を紡いでいきます。

彫刻と絵画。それぞれのメディアで活躍する2名の作家が機械性と有機性のバランスにより、現在の世界を色濃く表します。

宮崎 啓太 (1983 -)

2013年 英国王立芸術大学院彫刻科修士課程修了

2015年 東京芸術大学大学院 博士課程 美術専攻 鑄金研究領域 修了

主な個展に「Blooming at the end of the world」Akara contemporary (ムアンバイ) 2024年、「Excess of Desire」 gallery rosenfed (ロンドン) 2023年、「そのことの相対性」MAHO KUBOTA GALLERY (東京) 2022年、

「Rhizome」Piero Atchugarry Gallery (マイアミ) 2021年、「Scope of a Utopia」rin art association (群馬)、など

主なグループ展に「he same sky」Civiero art gallery (イタリア)2024年、「10 years」Piero Atchugarry Gallery (マイアミ)、

「Japan: Myths to Manga」Victoria and Albert Museum(ロンドン)、「Constellation #03」rin art association (群馬)

2023年、「Inspirations from the ancients」gallery rosenfeld (ロンドン)、「Frenetic Standstill」Galleria Civica d'Arte Moderna e Contemporanea (イタリア)、など

南 依岐 (1995 -)

アカデミーオブアート大学 BFA

主な個展に「ALAB-RLTN-EN」rin art association(群馬)、「藝核一如」GINZA SIX(東京) 2024年、「THE CORE OF PAINTING, THE ORIGIN OF THOUGHT」BUM gallery(韓国)、「BRAINSTORM」名古屋松坂屋美術画廊(愛知)、「ALGORITHM」阪急うめだ本店(大阪)2023年、「藝核一如」CADAN 有楽町(東京)、「YANG」ガトーフェスタハラダ本社ギャラリー(群馬)、

「YIN」rin art association(群馬)2022年、「TORUS-B」西武渋谷美術画廊・B館8階(東京)2021年、「RISING」西武渋谷美術画廊・B館8階(東京)2020年、など

主なグループ展に「南依岐 高橋周平 二人展」ギャラリー和田(東京)、「OKETA COLLECTION:THE SIRIUS」スパイラルガーデン(東京)2022年、「constellation #02」rin art association(群馬)、「Young Okazaki vol.01」MtK Contemporary Art (京都)2021年、など

まえばしガレリア

群馬県前橋市千代田五丁目 9-1 まえばしガレリア Gallery 2

contact

群馬県前橋市千代田町五丁目 9-1 まえばしガレリア Gallery 2

t:0273-87-0195 e:gallery2@towndevelop.jp w:https://www.towndevelop.jp

